



発行所

岐阜農林高等学校 同窓会

TEL <058> 324-1145

http://www.ginou-douso.org/

同窓必読の
親しい便り。

農林の指針

一人でも多く
見ましよう。
(希望者は事務局まで)購読料 年3回発行(郵税共)
年1,000円

印刷所

岐阜文芸社

岐阜農林高等学校
卒業おめでとう！

卒業おめでとう！



岐阜農林高等学校 同窓会

会長 大西 隆

2014年の春、春風そよぐこの季節に、我が母校岐阜農林高等学校を卒業されます皆さん、誠にめでとうございます。

我が母校は1900年に開校され今年で114年目を迎えますが、この永きに亘る伝統は、今も脈々と受け継がれて今日まで至っております。「不撓不屈」の精神と「農は国の基なり」を基本とした農業教育がなされ、多くの卒業生が各界で大きな成果を挙げ、特に農業界において岐阜県は下より日本農業の発展の礎を築いてまいりました。このような伝統ある岐阜農林高等学校を卒業される皆さんにおかれましては、その喜びはいかばかりかと拝察いたしますと共に、心からお祝いを申し上げますと、また卒業と同時に母校の同窓会に入会されますことに、心から歓迎を申し上げます。

近年、日本の社会は大きく変化し始めております。3年前東日本大震災があつて日本社会も大きな衝撃を受け、未だその痛みは完全には癒されてはおりませんが、今復興に全力を挙げているところで、その間に政権も変わり、長引く不況とデフレからの脱却、経済の回復を掲げて政策が進められてはいますが、我々のところにはなかなかその実感が伝わってこない状況が続いております。国際情勢は近隣諸国との摩擦が生じており、この問題が外交を進める上での障壁となり、未だ解決の目処が立たない状況はまだまだ続くものと思われまふ。特に農業政策はTPP問題や担い手に対する政策などが目まぐるしく変わり、日本農業が大きく変わろうとしております。このように今の社会情勢は大変厳しく、卒業される皆さんには大きな

な壁となつて待っているかもしれませんが、この三年間で得られた知識や何事にも負けない精神力で乗り越えてほしいものです。

今、日本農業が見直されておられ、新しい農業を構築しようとい進められております。けつして農業は駄目な産業ではありません。「二十一世紀は農業の時代」とも言われており、農業は基幹産業であり、農業の発展なしに日本の発展はありません。

私は次期世代を担う皆さんのように、将来に夢や希望を持った若者に期待するものです。卒業して社会人となり、また進学してもいずれば社会人となつて生きていかねばなりません。社会人として成功するためにはいくつもの要因があります。そのひとつに目標や夢を持つてあきらめないこと、人との出会いを大切にすることなどがあつて、皆さんは母校の卒業生として自信と誇りを持つて進んでほしいと思ひます。

終わりにあたり、皆さんの社会での大いなる活躍をされることをお祈り申し上げ、お祝いの言葉と致します。ご卒業誠におめでとうございま



森林総合プランナー
森林整備・木材生産・造園土木
株式会社
遠藤造林

代表取締役 遠藤 一美
専務取締役 遠藤 二二己
造園部長 遠藤 雅樹 (平三林卒)

本社
〒502-0812
岐阜市八代3-26-10
TEL (058)-231-5112
FAX (058)-231-4429
支社
洞戸・養老・山県・芥見・金山



丸宗コンクリート工業株式会社

本社
〒501-1619
岐阜県羽島市福寿町間島一五一八
TEL 〇五八-三九三-〇七〇〇

明日をかたちづくる



中衛工業株式会社

代表取締役
関谷 俊征
◎岐阜支店
岐阜市六条南3-6-9
tel.058-274-8881
fax.058-274-8860
◎本社
名古屋南区鶴里町3-11
tel.052-811-8111
fax.052-811-8311
http://www.chuei.com

土木舗装一式請負



郡上舗道株式会社

代表取締役
高橋 勇
(昭和30年農卒)
本社
岐阜県郡上市大和町剣37の2
電話 <057588> 3163
電 話 <057588> 3330
郵便番号 501-4612
北方営業所
岐阜県本巣市三橋712-1
電話 <058> 324-1818
324-7733
美濃加茂営業所
岐阜県美濃加茂市太田町字境松
電話 <05742> 5-8486

代表取締役社長 松野 守男

株式会社 松野組

本社
〒501-0223
岐阜県瑞穂市穂積1330番地
TEL 〇五八-327-1330 (代)
FAX 〇五八-327-1570
〒500-1808
岐阜営業所
岐阜市大島町1丁目42番地
TEL 〇五八-266-1386
山県営業所
〒501-2112
山県市大字西深瀬字蔵前1335番地の1
TEL 〇五八-122-2420

総合建設業



県下唯一のメーカー
東海ポリエチレン

東海ポリエチレン工業所
東海ポリエチレン工業所

岐阜県羽島郡岐南町野中
☎ <058> 246-1313
名古屋営業所
名古屋市西区前の川町四丁目
☎ <052> 521-9296

社長 大野 實

同窓会総会 報告

10月5日(土)に、同窓会総会が開催されましたので、報告します。

総会は、ホテルグランヴェール岐山にて、午後2時に開会。物故者黙祷・会長挨拶・学校長挨拶に続き、事業報告・会計決算報告・会計監査報告が事務局から報告されました。また、次年度予算案が事務局から提案され、承認されました。事業報告内では、同窓会からの部活動奨励金を、団体として馬術部・相撲部、個人として相撲部の長尾くん、大蔵くん、若林くん、宇野くんに授与したとの紹介がありました。

続いて、「岐阜農林高校の思い出」バスケットボールをとおして」と題して、岐阜県バスケットボール協会会長で、中部学院大学女子バスケットボール部監督である荒井強平氏による講演が行われました。荒井氏は昭和41年(平成2年)まで本校で男子バスケットボール部を率いられ、選抜大会で準優勝2回、国体で準優勝1回の成績を残され、本校男子バスケットボール部の礎を築き上げられました。講演内容は、まず荒井氏が本校を率いた24年間のうち3回全国制覇を狙えたが、いずれも逃し準優勝で終わってしまった話を聞かせて

いただきました。どの試合も接戦を制して勝ち上がり、岐阜農林旋風を巻き起こすとのキャッチフレーズで試合に望んだとのことでした。ここまでバスケットボール部の指導に携わってきたエネルギー源はバスケットが好きで、進んで岐阜農林に入学してくれた生徒が可愛いからだとのこと。岐阜農林に赴任した当初は妻と一緒にスキーに出かけたこともあったそうですが、冬の寒い中、耳を真っ赤にして走る生徒をみてからは、バスケットボールの指導に進んだという話でした。また、岐阜県の各地から大きな選手がいると聞けば必ず現地に行き、地域の中学校にはシクラメンやジャム等をもって訪問し、農業高校へは進学は、という親さんを口説き落として岐阜農林に進学してもらったとの当時の貴重な苦労話も聞くことができました。そして、卒業生は実業団や高校でバスケットボールの指導に携わることも多く、県内の高校大会で男女ベスト4の8チーム中6チーム、卒業生が指導されていた時もあったとのことでした。最後に、日本一の夢は教え子に託す、本校バスケットボール部の奮起に期待するとの言葉を掛けられました。



懇親会の様子



荒井強平氏 講演

に乾杯で開会。近況報告や、平成23年卒幹事の進行によるビンゴゲーム、知財学習を生かしたクイズも行われ、和やかな雰囲気のもと、久しぶりの交流を深めることができました。最後は本校職員が登壇して、音頭をとり、参加者全員で校歌を斉唱し、閉会となりました。

平成25年度

教育者文部科学大臣 表彰

高畑清樹 校長先生

平成25年11月27日(水)文部科学省にて、学校教育に関し特に功績顕著な教育者の功績を称える教育者文部科学大臣表彰があり、本校の高畑清樹 校長先生が受賞されました。

平成25年度

文部科学大臣優秀教職員 表彰

三輪嘉文 先生

学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げた教員として、本校の三輪嘉文先生が表彰されました。

第45回 中日教育賞 受賞

中島充雅 先生

第45回中日教育賞の贈呈式が10月22日(火)、名古屋市中区の中日パレスで行われ、本校教諭の中島充雅先生が受賞されました。



中日教育賞を受賞した岐阜農林高校の中島充雅教諭＝名古屋市中区の中日パレスで

(中日新聞 10/23付)

中日教育賞を受賞して

教諭 中島充雅

同窓生のみなさんこんにちは。演劇部の中島です。今回、この紙面でご挨拶させていただきます。誠にありがとうございます。この度、高畑清樹校長先生にご推薦いただきました。中日教育賞をいただきました。一重にこれは、岐阜農林で21年もの長い時間を勤めさせていただきましたみなさまのおかげです。岐阜農林高校はとても大きな学校です。長い歴史、その中で時代の荒波にのまれてきた農業と若者、古く加納の校舎から当時の生徒たちが夜通し引いてこの地に根を張るクスノキ、それをみあげる度に、自分はなんという大きな出会いの中で、生かされていくのだらうと日々思います。感謝の気持ちで毎日、生徒の顔をみます。卒業して、岐阜の地を支える人となる。卒業したたかさんの生徒達と再会できる。たまたま自分は教員としてそこで生かされた。長く

生かされた。自分のようなものが新聞に載るのはおかしい話ですが、岐阜農林で生きている青春をたまたま演劇という語り口で、日本中に届けることが評価されたとするならば、それは、すべてこの紙面をお読みの同窓生のみなさんの学び舎に、演劇でいえば、スポーツがあたったということでしょうか。それは素晴らしいことです。同窓生のみなさん、みなさんのたかさんの青春と出会うことができ、自分は本当に幸せです。ありがとうございます。

このあいだは、動物科学科の先生にお願いして、演劇部員達と、除糞・給餌の実習をやりました。園芸、食品、流通の子が動物の子に教えてもらっていました。3年生になつてはじめて出会う「臭い」に顔をしかめていました。でも、そのあとの稽古で、除糞のシーンをやりましたが、それはリアルなものになりました。みんなでトマトの実習をしたことも、ジャムづくりをしたこともありです。農業の学習って、口で言うのは簡単ですが、楽しいことより大変なことのほうが多いです。それを私は生徒を通して何度も勉強させていたできました。

岐阜農林の演劇は、手を使って



客席をあふれさせた中部大会上演作品「R」
今部員は44名です。

汗をかいて、困っている若者の姿を描きます。木の美、花、牛、森、川、酵母、細胞をじっと見つめて考える。農林の生徒はみんなそれを経験します。部活で先生に怒られて、教室で友達と喧嘩して、仲直りして、帰りに実習の先生に少し褒められる。家に帰ったら、お母さんが汚れていた実習服を洗濯して、そばにおいてくれる。眠い目をこすって、早朝当番にいく。それをただ演劇にしました。それが今の岐阜農林高校演劇部です。昨年の12月の中部大会は愛知県だったのですが、岐阜農林の上演時のみ、1000人収容の客席がパンクしてしまい、会場の外にもお客様があふれました。「岐阜農林で生きている若者の姿をみたい」という気持ちは今時代のニーズです。日本は、岐阜農林の青春に注目しています。これからも農業に生きる青年をどうぞ応援ください。

小泉進次郎 衆議院議員 本校視察

小泉進次郎衆議院議員が9月6日(金)、文部科学省のスーパースайエンスハイスクール(SSH)に指定されている本校を視察した。



生徒から研究の内容を聞く小泉進次郎青年局長(左から2人目)＝北方町北方、岐阜農林高校

(岐阜新聞 9/10付)

韓国の教諭 本校を視察

1月14日(火)、韓国の商業高校や工業高校など専門系高校の教



論40人が本校を視察した。

教諭らはソウル大学で研修を受けている学校幹部で、実験室やピニールハウスなどを見学して、「学校がきれいで生徒達の学ぶ意欲が高く、うらやましい」との声があった。

揖斐川支部活動報告 (その16)

★平成26年度第1回役員会開催

平成26年1月17日(金) 谷汲山門前立花屋旅館に於いて、本年度の総会開催について協議しました。

総会開催については、次の通り決定し会員に通知する事としました。

1) 開催日時

平成26年3月15日(土) 17時30分より

2) 開催場所

谷汲山門前 立花屋旅館

3) 議案

(1) 平成25年度事業報告・収支決算について

(2) 平成26年度事業計画・収支予算(案)について

(3) 役員改選について

(4) その他

役員会終了後新年懇親会を開催しました。

★計報

新年早々の3名の会員の計報をお知らせします。

(役員会の協議に先立ち、黙祷を捧げました。)

平井 萃氏 33年農卒

揖斐川町谷汲名札1161

河村幸雄氏 33年農卒

揖斐川町谷汲徳積

1892-11

細野治重氏 39年土卒

揖斐川町上ミ野315

記事・39化 岩間庄三

活躍する同窓生

★グリーン・ドクター

として活躍★

(平成4年園芸科卒業)

堂前 満里さん

早いもので、高校を卒業して二十二年が経とうとしています。現在の私には君たちと同じ高校1年生と3年生の男の子がいます。

うちの子ども達は保育園から剣道をしています。二人とも高山の私立高校へ特待生として入学させていただきました。中学3年生の時、周りは受験でピリピリしている時なのに、特待が決まってから緊張感のないうちの子供に怒ったことがありました。「みんな受験で頑張っているのにアンタそんな緊張感なくていいの!」と。そしてら子供に言われました。「俺は、土日、連休、夏休みも正月もずっと休みなく剣道を頑張った。熱があっても稽古に行った。流行の歌もドラマも知らない。みんなが遊んでいる間も遠征に行つて昼間は剣道、夜は洗濯しながら勉強して頑張った。中体連が終わってみんな部活を引退した今も俺だけは毎日稽古してる。」言われてみれば

そうだ。特待生で高校へ入るためにももちろん剣道は強くなきゃいけない。でも剣道だけをやるために高校へ入るんじゃない。文武両道。勉強も本当によく頑張つてた。特待が決まっただけから高校の部活に参加して数検や英検も挑戦して、道半ばでも頑張つたから今の進路があるんだなあと、その時子供に教えられました。

高校へ進んでからも相変わらず遠征続きで、親子共々慌ただしい毎日を送っています。部活も勉強も半端なくハードで深夜に死んだように眠っています。そんなわが子を見ると高校生時代のことを思い出します。バスケットの子たちは毎日大変そうでした。朝は誰よりも早くから夜も誰よりも遅くまで部活して、寮の仕事をこなし、夜遅くから自分の洗濯をして、その間に勉強。逃げ出したくなることもいっぱいあっただろうに。がんばつてたなあ。そんなことを考えます。

この瑞穂には、たくさん卒業生の皆さんが手記を寄せられています。卒業されてから手に入れた輝かしい未来です。これらのお話には必ず共通する言葉があります。頑張った自分と継続です。

功績や実績の裏には苦しみや挫折、人知れず流した涙があるからこそ今の自分がいます。勉強や部活に限らず何かを頑張るといふことは必ず自分の糧になってくれます。効果はすぐ出る時も何年かかる時もあります。それでも腐ら

あきらめないでほしいのです。光を手に入れてからも奢らず前向きな姿勢を継続してほしいのです。ここに書かれている言葉は、君たちからすると大人のきれいなことのように思えるかもしれません。それでも、この言葉を信じてほしいと思います。

これからの君たちには前途洋々とした未来が待っている。と決まて言えるような楽な社会ではありません。大人の汚さや世の中の矛盾に愕然とすることもあつてしょう。だけど明るい未来は必ず手にすることが出来ます。

うちの子の将来の夢は、辛い時も苦しい時も自分と同じように泣いて、一生懸命支えてくれた先生のような先生になることなんだそうです。

君たちもうちの子も、今の自分があるのは、あの時頑張つた自分がいたからだ、どうか胸を張つて言える大人になってほしいと思います。そしていつの日か、自分の子どもと一緒に頑張るお父さんやお母さんになってほしいと思います。

・・・・・

★卸売市場で

販売員として活躍★

(平成21年流通科学科卒業)

市側 将康さん

私は平成二十一年に流通科学科を卒業し岐阜市民の台所である岐

阜中央卸売市場の岐阜岐阜青果に就職し販売担当として、ごほう・かぶらを販売しています。入社一年目は下前として青果物の市場流通や販売について学び、その後担当として日々入荷してくる担当品目を販売しています。卸という仕事は野菜の産地(生産者)と末端の消費者をつなぐ重要な仕事です。

そしてこの仕事で最も大切な事はコミュニケーションです。産地からの生育状況や天候といった情報、逆にお客さんからの要望といった事をお互いにつなぎよりよい生産や販売ができていくように心がけています。しかし世間の野菜離れが進むなか、順調な販売がでるとは限りません。異常気象により不作あるいは豊作といった状況があり販売がうまくいかない場面も多々あります。そんな中いかに青果物を安定供給できるかが我々の使命であり仕事です。

日本の農業はますます課題が増えていきます。まず高齢化によってますます既存の産地が減っていきな、いかに生産面積の維持または拡大していくかが卸売り業界や日本の農業の課題です。それには新たな提案が必要となつていきます。その為にも日々お客さんとの会話で情報を掴み新たに産地へ提案していきます。これも日々産地やお客さんとコミュニケーションを取る事が重要となります。そして自ら産地へ出向き自らの目で生育状況を確認してお客さんへ繋

ていく。この事を実践していく事で安心・安全な青果物を消費者へ提供していけると私は考えています。

また皆さんもご存じかと思いますが、食料自給率やT・P・P参加問題といった農業の現状を根本的に揺るがしかなない問題が山積みとなつていきます。農業が衰退すれば国が減る。この言葉聞いたことがありますか? この言葉の通りいかに大国といつても農業(食)が国を支えているのです。

皆さんにも覚えていて欲しい言葉です。そして日本の農業も経営方法や生産品目の工夫次第で魅力ある業種だと思っています。機会があれば当社に青果物を出荷して下さい。一生懸命販売します。そして末端の消費者へ提供していき

ます。そして市場も農業と同じく販売の後継者が足りない状況です。もしもこの文章を見て卸という仕事に興味をもってもらえたら幸いです。岐阜農林の先輩方も活躍している会社です。良ければ是非一緒に働きましょう。

最後になりましたが岐阜農林の益々のご発展と皆さんのご多幸を祈念し今回寄稿させて頂きます。ありがとうございました。



同窓会だより

昭和42年
定時制農業科卒業 クラス会

昨年11月24日(日) 本巣市随原の美濃にて、昭和42年定時制農業科卒業のクラス会を恩師の河瀬先生をお招きして、15名の参加者で開催しました。

はじめに亡くなった6人の級友に黙祷を捧げました。

宴会に移ってからは、お互いに若き日の思い出話に花が咲き、時のたつのも忘れ楽しいひと時を過ごしました。

次回までお互い体調管理に留意して、元気で再会することを約束して散会しました。



(岐阜新聞 1/18付)

農業クラブ活動報告

第64回 日本学校農業クラブ連盟
全国大会(首都圏大会)

3F 上田 裕紀
2年連続日本一!!

☆農業鑑定競技会☆

Ⅱ 最優秀賞Ⅱ

区分「食品科学」

食品科学科

3年 上田 裕紀

《期 日》

10月23日(水)・24日(木)

《会 場》

東京都・埼玉県・千葉県・
神奈川県

《結 果》

(1) 意見発表会

優秀賞

区分

「食料・生産」

テーマ

「嶋田牧場にかける私の夢」

3A 嶋田 颯

(2) 農業鑑定競技会

最優秀賞

区分

「食品科学」 3F 上田 裕紀

(2年連続獲得)

優秀賞

区分

「農 業」

3D 山田 まゆ

「園 芸」

3H 森田 大斗

「畜 産」

3A 長谷川 業紀

「林 業」

3N 小森 一史

「農業土木」 3E 二見幸太郎

2E 高木虎太郎



農業クラブ全国大会参加者

農業クラブ全国大会

2年連続最優秀賞を受賞して

Ⅱ 2年連続日本一!! Ⅱ

食品科学科 3年 上田裕紀

私は昨年度の全国大会で最優秀賞を受賞した時から、「来年も日本一、2連覇を達成します!」と宣言してきました。宣言通り、今年度も農業鑑定競技会・食品科学の部で最優秀賞を受賞することができてホッとしています。2年連続での受賞は、まぐれではなく自分の力で勝ち取ったのだという思いがあり、その嬉しさもひとしおでした。

今年度の県大会では一度受賞したことがあるという慢心から最優秀賞を逃してしまいましたが、その悔しさをバネにして、全国大会に向けての取り組みでは己の限界に挑戦しました。進路実現に向けての取り組みもある中での挑戦だった。

たので時間の確保が難しかったのですが、過去の自分に負けたくないという思いが原動力となり、私を最優秀に導いたのだと思います。また、全国大会の選手皆で取り組み、一人一人が作った問題を解き合い、共に知識を高めたことが私の力になりました。他の選手が意欲的に取り組んでいるのを見て、私も頑張らなければと思いました。この競技は個人戦ですが、取り組みは団体戦であったと、私は思います。

私はこの競技会の取り組みから多くのことを学びました。1つ目に、努力は報われるということです。コツコツ継続して取り組んだことは必ず結果が出るということを学びました。2つ目に、己の限界を知ることの大切さです。限界まで挑戦すると、自分がやってきたことに信頼を置くようになります。3つ目に、知識と技術を探求することの大切さです。一つのことを深く追求めることは社会に必要とされる力、専門性を高められたことは私の将来に大いに役立ちます。



(日本農業新聞 11/17付)

立つと思います。
私の目標は1つ達成されましたが、まだまだ人生のスタート地点。この取り組みから学んだことを糧にして、今後は岐阜大学で食品の栄養機能について研究し、将来は特定保健用食品の開発を通して現代人の健康増進に貢献したいと思っています。

在校生の活躍

★岐阜新聞 スポーツ賞★

国内外の大会で優れた成績を収め、県スポーツ界の発展に寄与した個人・団体を称える「岐阜新聞スポーツ賞」の贈呈式が、12月14日に岐阜市橋本町のぎふチャンネルスタジオで行われた。

ぎふ清流国体と東京国体で、馬術少年トップスコアを連覇した、生物工学科3年 緋田 碧さんが受賞した。



前列左が緋田 碧 (岐阜新聞 12/15付)

国体連覇をして

生物工学科3年 緋田 碧

国体連覇を通して、私は支えてくれる人の大切さを学びました。支えてくれる人がいたからこそ、大きな舞台でも力を発揮することができたのだと思います。

馬術競技は、馬と人が一緒に出場する特殊な競技です。馬と人がお互いの事を信頼し、助け合うことで成り立っています。また、馬を扱うため、出場には多くの人の協力が必要な競技です。競技に出場している一瞬も、決して自分ひとりで成り立っているのではないと、私はいつも強く感じています。

国体では、岐阜県代表選手として、普段より多くの人の期待がかかっています。国体の競技に出場するとき、私は「支えてくれた人の思いを無駄にしない」という強い思いで勝負に臨みました。そして、危ない場面もありましたが岐阜国体・東京国体と少年トップスコア競技で優勝することができました。たくさんの人の思いは、私にとって大きな力となり、どんなピンチにも立ち向かう勇気を与えてくれました。だからこそ、大きな舞台でも臆することなく勝負することができたのだと思います。



(岐阜新聞 12/12付)

また、シヨコラティエというパートナーの存在も私にとって心の支えとなりました。毎日の練習を共に過ごし、支えあっていたことが、私とシヨコラティエにとって大きな自信となりました。これまでの努力や自分の力を信じたことが、冷静な走行に繋がったと思います。支えてくれる人がいることは、自分自身にとって大きな力になると私は思います。私は、普段の練習でも、競技に出場するときも、多くの人に助けられてばかりです。辛いときや苦しいとき、支えてくれていてる存在を知ることが、諦めずに続けることができた。どんなことであっても、良い結果を出すには相応の苦労が必要です。私たちの努力に周りの人は必ず気づいているし、きつと陰から支えてくれています。そういった人の存在を知ることが、ここ一番での実力発揮に一番大切なことだと私は思っています。

これまで私を支えて頂いた多くの方々に感謝したいと思っています。ありがとうございます。

部活動報告

(H25年9月～H26年2月)

馬術部 3B 緋田 碧

国民体育大会
少年トップスコア競技
2年連続日本一の快挙！

男子バスケットボール部
県新人大会優勝
(2年連続32回目)

◎相撲部

【全国選抜高校相撲宇佐大会
団体の部
予選
本校1―2金沢学院東(石川)
本校2―1足立新田(東京)
本校2―1東九州龍谷(大分)
決勝
一回戦
本校2―1報徳学園(兵庫)
二回戦
本校2―1近大附属(大阪)
準々決勝
本校0―3明德義塾(高知)
ベスト8
【国民体育大会
3N長尾・3N伊藤・
2N大蔵・2B若林 出場
団体で2勝したが惜しくも予選敗退
【地区総体
団体の部
優勝 Aチーム(長尾・大蔵・若林)
2位 Bチーム(菅沼・加藤・米盛)
(県選手権大会
高校1年の部 3位 加藤
高校2年の部 優勝 大蔵
2位 若林 3位 宇野・菅沼
高校3年の部 優勝 長尾

2位 伊藤 3位 川島
高校総合の部 優勝 長尾
2位 大蔵 3位 伊藤・若林
【県高校新人大会
団体の部 優勝
(宇野・大蔵・若林) 7連覇
個人の部
80kg未満級 2位 宇野
100kg未満級 3位 浅野・市川
個人総合の部 優勝 若林
優勝 2B 若林
2位 2N 大蔵
3位 2N 菅沼 2E 宇野

◎男子バスケットボール部

【地区総体
三回戦 本校151―50鶯谷
準決勝 本校93―71岐阜工
決勝 本校63―59富田 優勝
【県選抜大会
三回戦 本校130―35多治見
四回戦 本校110―42岐阜工
五回戦 本校80―44中津川工
準決勝 本校84―54富田
決勝 本校65―67美濃加茂
2位
【地区新人大会
四回戦 本校79―34鶯谷
準決勝 本校89―37長良
決勝 本校68―53富田 優勝
【県新人大会
一回戦 本校130―30益田清風
二回戦 本校108―33関
三回戦 本校82―32大垣工
決勝リーグ
本校95―40岐阜総合
本校77―42中津川工
本校71―36美濃加茂 優勝

◎女子バスケットボール部

【地区総体
三回戦 本校89―49長良

準決勝 本校49―114岐阜女子
3位
【県選抜大会
一回戦 本校94―43岐阜北
二回戦 本校106―45加茂
三回戦 本校91―58大垣南
四回戦 本校43―53高山西
ベスト8
【地区新人大会
四回戦 本校65―28各務原西
準決勝 本校54―89県岐阜商
三位決 本校74―43長良 3位
【県新人大会
一回戦 本校107―46多治見西
二回戦 本校59―57大垣商
三回戦 本校52―59土岐商
五位決 本校79―31長良 5位

◎男子ソフトテニス部

【地区総体
団体 予選リーグ
本校 2―1 加納
本校 3―0 羽島
決勝トーナメント
本校 0―2 長良
【地区新人大会
個人 鵜飼・渡辺組 ベスト4
古田・村瀬組 ベスト32
【県新人大会
団体 二回戦 本校2―1長良
三回戦 本校0―2多治見北
個人 鵜飼・渡辺組 ベスト32
古田・村瀬組 ベスト32

◎女子ソフトテニス部

【地区新人大会
個人 青山・服部組 3位
山川・高岡組 ベスト8
谷口・守屋組 ベスト32
【県新人大会
個人 青山・服部組 ベスト16
団体 二回戦 本校2―1大垣東
三回戦 本校1―2土岐商

ベスト16

【県高校シングルス大会】

青山 ベスト16

【地区高校室内大会】

青山・服部組 ベスト8

【県高校室内大会】

青山・服部組 ベスト16

◎馬術部

【県馬術選手権大会】

第3競技 障害飛越競技LB

優勝 2A 大野友愛

第5競技 ジムカーナ

優勝 1E 藤原 凛

第6競技 障害飛越競技80

優勝 2B 加納拓都

第7競技 障害飛越競技LD

優勝 2A 大野友愛

第11競技 リレー競技

3位 2A 大野友愛

第12競技 ジムカーナ

2位 1A 大場亮慈

第13競技 障害飛越競技80

2位 2A 高橋智子

3位 2A 村田紋奈

4位 2A 関谷真里奈

【国民体育大会】

3B 耕田 碧

少年 標準障害飛越競技 5位

少年 リレー 8位

少年 トップスコア 優勝 2連覇

【東海高校馬術王座決定戦】

2A 大野友愛 2位

◎柔道部

【地区総体】

女子 団体 3位

【地区新人大会】

男子個人

73kg級 1E 林 敦紀 7位

女子個人

63kg級 2N 白井美奈実 優勝

70kg級 1A 似田貝加奈 3位

【県新人大会】

女子団体 3位

(2N 白井・1A 似田貝)

女子個人

63kg級 2N 白井美奈実 3位

70kg級 1A 似田貝加奈 3位

◎硬式野球部

【県下選抜高校野球地区予選】

本校10-6岐阜東

【県下選抜高校野球】

一回戦 本校5-7美濃加茂

◎水球部

【県新人大会】

決勝 本校2-23大垣東 2位

◎競泳の部

100m平泳ぎ 2位

1A 大下あおい

200m平泳ぎ 1位

1A 大下あおい

◎卓球部

【県新人大会】

男子団体 本校3-0郡上

一回戦 本校0-3向陽台

◎男子バレーボール部

【全日本高校選手権大会県予選】

二回戦 本校2-0郡上北

三回戦 本校0-2岐南工

ベスト16

【地区総体】

一回戦 本校2-0岐阜東

二回戦 本校0-2岐南工

ベスト8

【地区新人大会】

本校2-1富田

本校2-0羽島北

県大会出場権獲得

【県新人大会】

一回戦 本校0-2大垣東

◎女子バレーボール部

【全日本高校選手権大会県予選】

二回戦 本校2-1可児

三回戦 本校2-1大垣北

四回戦 本校0-2岐阜各務野

ベスト16

【県新人大会】

一回戦 本校0-2関商工

◎ソフトボール

【地区新人大会】

一回戦 本校2-1本巣松陽

決勝 本校0-9岐阜女子

2位

【県新人大会】

二回戦 本校1-2本巣松陽

【地区総体】

リーグ戦 本校2-5本巣松陽

本校0-9岐阜女子 3位

◎剣道部

【県選抜大会】

男子 団体 本校0-5岐阜城北

女子 団体 本校0-5美濃加茂

◎陸上部

【瑞穂・本巣・北方駅伝競走大会】

男子 準優勝 3区区間賞獲得

2B 松野貴磨

【地区総体】

4×400m 第6位

(2N 辻 木野村 1H 高田

1N 安藤)

駅伝の部 第9位

(辻・梅本・松野・高田・竹中・

安藤)

◎演劇部

【県高校総合文化祭】

優秀賞(第1位)

◎書道部

【国際高校生選抜書展】

入選 2H 村木加奈依

1F 三浦水菜

【瑞穂市美術展】

市展賞 2H 村木加奈依

奨励賞 3H 市橋ゆきな

3F 笠井千菜津

他 6名入選

【全日本高校書道公募展】

特選 2H 村木加奈依

準特選 2F 松田頼子

金賞 3F 笠井千菜津

銀賞 3H 市橋ゆきな

銅賞 2B 長野史織

1F 長野綾香

2D 三嶋彩夏

他 3名入選

【全国書道展】

特別奨励賞 3H 市橋ゆきな

【全日本高校書道展】

特選 2H 村木加奈依

準特選 2F 松田頼子

金賞 3F 笠井千菜津

銀賞 3H 市橋ゆきな

銅賞 2B 長野史織

1F 長野綾香

2D 小田晴香

1F 三嶋彩夏

【県高校総合文化祭】

最優秀賞 2H 村木加奈依

【全国高校総合文化祭】

県代表出場決定 2D 小田晴香

◎写真部

【県高校総合文化祭】

優秀賞 2A 森亜由望

奨励賞 2A 八代朋香

2A 土田七海 1B 鷺見綾香

【各務原市高校生美術展】

優秀賞 1B 白木楓子

奨励賞 1A 橋本優子

入選 2A 八代朋香 塩田彩夏

森亜由望 土田七海 北千夏

1B 山田祐華

◎科学部

【県児童生徒科学作品展】

入選 2A 田口愛珠 半坂陽菜

1B 進藤瑞希

1D 高田歩実

【県自然科学系部活動研究発表会・

交流会】

奨励賞

1D 高田歩実

1B 田口将吾 進藤瑞希

審査員特別賞

2A 田口愛珠 半坂陽菜

船戸香奈

会員の動向

堀尾茂之氏(昭和41年定農科卒)

JA揖斐川組合長 就任

安藤重夫氏(昭和44年園芸科卒)

本巣市議会副議長 就任

◆訃報

棚橋西伍(昭和13年農業科卒)

平成22年11月26日 逝去

坪井利明(昭和44年農業科卒)

平成25年11月29日 逝去

本校の実習製品紹介

～岐阜県の逸品④～

イチゴ

岐阜県では昔からイチゴの栽培が盛んで、県も力を入れており多くの品種開発などの研究が盛んに行われている。本校でも流通科学科(旧農業科)作物部門で栽培を実施しており人気の高い「紅ほっぺ」、岐阜県のオリジナル品種で甘みの強い「美濃娘」、柔らかくバランスのとれた「濃姫」を生産している。実際の生産現場を意識して、高設栽培と土耕栽培の2種類の方法で学習しながら栽培するのと同時に、丈夫な株を育て、味や成分の向上と収量増加を目的とした微量要素散布を実施している。現在は2年作物研究生を中心に朝取り実習を実施し、より新鮮で品質の良いものが提供できるようにしている。12月下旬～5月上旬までにのうじよう君を中心に地域住民に販売しており、新鮮で質が良いことに加え市販のパックよりやや大きいパックで販売しているため、人気の製品の一つとなっている。



母校の野鳥紹介 19

ジョウビタキ

家の周りで身近に季節を感じるもの、多くは庭に植えられた植物の変化であり、日差しや雲の形で。野鳥では渡り鳥の飛去来で感じられます。庭の木々が赤く色づく11月秋の深まりとともに庭に現れるのは冬鳥のジョウビタキです。スズメほどの大きさの鳥で雄雌で羽色が異なり、雄は頭部が銀色で顔が黒く、胸はオレンジで背中が黒くその翼に白い斑点があります。この模様から和服の紋付きのように見えるのでモンツキドリと呼ばれたりしていて、この白班は雌も同様にあります。ある一定の縄張りを持ちその中で生活しているため、一日に数回現れてはまた去って行く行動をしています。学校でも数羽が縄張りを作るので、校内をまわるとあちこちに現れます。毎年同じ個体が飛来するかどうかはわかりませんが、遙々来てくれたことを嬉しく感じたりします。



母校の銘木紹介 19

ハルニレ

別名 ニレ

ニレ科 ニレ属 森林棟(旧林業棟)の西に生育していたが、木造校舎の建て替え時に伐採され、新しい校舎ができたとき、同じ場所に新しく植えられた。

舟木一夫の「高校3年生」の歌に歌われ、親しまれてきた。



ニレには、ハルニレとアキニレ(本館放送室の北側)があり、ハルニレは4月葉の出る前に帯黄緑色の花を付けるが、アキニレは9月に花をつける。落葉広葉樹で高木、葉は単葉で鋸歯があり、ハルニレは重鋸歯がある。用途は緑化木、街路樹、建築、楽器、薪炭材など。

この「瑞穂」の記事はホームページでも閲覧できます。

同窓会ホームページ

<http://www.ginou-douso.org/>

同窓会だよりなどの投稿をよろしくをお願いします。



(株)安藤コンクリート

代表取締役 安藤 正年(昭和二十八年卒)

本社 岐阜県本巣郡北方町北方2126番地
☎(058)324-2121(代)
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅四丁目25-17
☎(052)538-1761(代)
福井営業所 福井市花堂中1丁目8番26号
☎(0776)36-7523
豊橋出張所 豊橋市湊町132
☎(0532)55-0760
小松出張所 石川県小松市上小松町西58-1
☎(0761)22-6345
大野工場 岐阜県掛妻郡大野町五ノ里437番地
☎(0585)32-3111(代)

建築・土木
工事の基礎
パイル・杭打工事責任施工
日本工業規格表示許可



建設コンサルタント

株式会社ユニオン

代表取締役
村橋 元
(昭和37年土卒)

〒501-0106
岐阜市西河渡2丁目57
電話 <058> 253-3111

支店・営業所
名古屋・恵那・高山・郡上・大垣
中濃・各務原・羽島・下呂・掛川
福井



ヒナ・資材・鶏卵加工販売
株式会社 後藤孵卵場

岐阜市西野町7丁目北町13
TEL <058> 251-2231
FAX <058> 253-0812

ゴトウグループ
ゴトウテクニカル
グローバルチック
岐阜養鶏農協



Central Rose Nursery

セントラルローズナーサリー
〒501-04 岐阜県本巣市七五三-1の所7724
Phone (058) 324-7203 Fax (058) 324-6277
大西 隆(昭和45年農卒) 桜(平成7年工卒)

株式会社
スグスイ住設

代表取締役
杉山 卓雄
(昭和54年農卒)

- 給排水空調設備工事
- 住宅水廻りリフォーム
- 住設ショールーム
- 雑貨 ガーデニング 喫茶

〒501-0531
事務所・ショールーム
揖斐郡大野町上磯67-1
☎0585-34-2487

クリーンな未来を。

今日は、昨日の未来。
そして、今日の一番近い未来は、明日。
新しい世紀が訪れても、昨日、今日、明日、
その一日一日の積み重ねが、
未来を創っていくことには変わりありません。
環境を美化させるコンクリートは
“地球の創造素材”である。
と私たちは自負しています。
自然と社会
それぞれの調和を大切にしながら、
シンプルに生きる。
21世紀は、本質に還る時代です。



プレストレストコンクリート設計製作施工
コンクリート二次製品製造販売
昭和コンクリート工業株式会社
〒500-8703岐阜市香蘭1丁目1番地
TEL.058-255-3333 FAX.058-255-3330
代表取締役 村瀬大一郎